


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成29年 2月13日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第1号	質問議員	12番	渡辺良孝 
件名	住宅開発・企業支援の道路改修は遅れていないか			
要 旨				
<p>東山北駅前広場のロータリー整備計画は地権者のご理解により、今年度（28年度）に測量が終わり具体化してきた。駅南側であることから、計画の中心的な場所で、東山北1000計画推進の上で大きなステップになるとともに、多くの地域の皆さんが期待するところである。又、懸案であった丸山開発も基本的な土地利用が決まってきた。</p> <p>私は、平成25年3月議会の一般質問で、「東山北1000計画に関連するアクセス道路の整備について」質問をした。</p> <p>あれから3年近く経過し、原耕地には大型ショッピング店等の進出もあり、県道721号線「東山北停車場線」の沿線の賑わいも増してきている。このような開発の流れを更に推し進めていくには、地域の安全対策を基に、官民連携による住宅開発や企業誘致に積極的に取り組み、道路政策に力点を置き、バランスのとれた土地利用を進めていくべき状況下にあると思う。基本的な考えを伺い、さらに、具体的に次の質問をする。</p> <p>1) 県道721号線「東山北停車場線」の改修工事は、平成25・26年度三菱ガス化学（株）の前から始めたが、その後設計変更をするとのことで、平成27・28年度は工事が止まっている。県との交渉はどのように進んでいるか。</p> <p>2) 県道721号線「東山北停車場線」の沿線で、民間による宅地開発が行われている。このことは町の人口対策につながり喜ばしいことである。開発行為を進めるためには、地域住民や地元企業への安全対策の周知、工事内容・スケジュールの周知など、さまざまな調整が必要となるが、それらが充分機能していないことが見受けられた。開発を許可した行政は、民</p>				

間事業主に対して、これらを実施するよう指導する立場にあり、さらに行政内部での情報共有と連携を密にし、その任にあたっていくべきと思うが。

3) 懸案となっている県道74号線「小田原山北線」の南原地域の改修も一向に進んでいない。大型車の交通量も増えてきていることから積極的に県へ要請し、改修を急ぐべきと思うが、県との交渉はどうなっているか。特にこのルートは、アサヒビールの進入路としてだけでなく、岸地区の主要企業も、国道246号線へのアクセス道路として相当利用している。地元企業を支援するためにも改修を急ぐべきと思うが。

4) 山北高校前から松田町庶子につながる酒匂川左岸河川管理通路の改修は、第5次総合計画の基本計画に位置づけられている。この路線は当町に比べて松田町の延長は相当長い、そのようなことから早めに松田町と協議を進めていくべきと思うが、現状はどうか。